

<対策のポイント>

アフリカ・アジアにおいて、現地の食品事業者等に対する栄養改善に関する啓発や食品ロス・廃棄物を削減するための取組を支援します。

<政策目標>（平成32年度までに実現）

- 講義・セミナー参加者の8割について栄養改善意識の向上
- 実証を行う食品事業者等で食品ロスを削減するマニュアルを作成・普及

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 「栄養改善とフードバリューチェーン」講座・セミナーの開催 47（54）百万円

- アフリカ・アジア（ガーナ、ケニア、ベトナム）において、栄養改善に関する啓発を行うため、栄養学を専門としていない農学部、経営学部等の大学生や地域の食品事業者等を対象に、実施国の実態に合った“生きたカリキュラム”を作成し、講義・セミナーを開催します。また、幅広く活用可能なeラーニングシステムを構築し、栄養に関する意識向上の普及を図ります。

2. サプライチェーンにおける食品ロス削減事業 13（14）百万円

- タイにおいて、食品の不適切な管理・保管によって発生する食品ロス・廃棄を調査し、無駄なく食品を提供するための実証事業を実施します。また、適切な保管・管理に関するトレーニングプログラム・マニュアルを作成し、実証国（タイ）内における横展開を図ります。

- 約8億人の人々が慢性的な低栄養状態。最低エネルギー必要量や必要な栄養素を満たすだけの食料を確保することができていません。
- 約20億人がビタミンとミネラルの欠乏等の**栄養不良**状態にあります。

【健康・医療戦略】（平成26年7月22日閣議決定）（抄）を踏まえた事業推進（前略）日本の優れた提供強化食品などの研究開発力をいかし、**新興国・途上国を含む各国の栄養改善のため、官民連携を通じた包括的（インクルーシブ）ビジネスを含む事業の国際展開を進める**（後略）

1. 「講義」・「セミナー」

2. 食品ロス削減マニュアル作成

アフリカ・アジアの国々での**栄養に関する意識の向上**を図り、もって、**我が国食品事業者が現地で栄養改善の取組を行う環境整備**を推進。

食品ロス・廃棄物を削減し、**食料の安定供給によるエネルギー確保と栄養改善**を推進。

我が国の食品事業者との連携を契機とした現地の食品事業者等の栄養改善の推進により、アフリカ・アジアにおける栄養不足人口の削減に貢献。

<事業の流れ>



- 【お問い合わせ先】
- (1) 大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)
 - (2) 食料産業局企画課・バイオマス循環資源課 (03-3502-5742)